

## 観光社会資本の事例

テーマ	歴史的なまちなみに配慮した電線類の地中化、修景事業
【施設の状況写真】	
	
新しく生まれ変わった城下町の風景	新しく生まれ変わった城下町の風景 統一された建物の風景
【施設の利用写真】	
	
夏祭りでにぎわう夢京橋キャスルロード	観光客でにぎわう休日の商店街
【観光資源としての利用状況】	
<p>彦根城から南に歩き中濠にかかる京橋を渡ると、江戸期の町屋風の建築物が軒を連ねる「夢京橋キャスルロード」のまちなみが広がっています。いぶし瓦の切妻屋根、白壁・格子戸に統一された350mの通りは、城下町の風情が感じられるまちに再生されました。</p>	
<p>夢京橋キャスルロードは、街路整備事業に併せ沿道の建築物を「OLD NEW TOWN」をコンセプトとして、城下町のまちなみを再生させることで、彦根城と連動した新しい観光名所に生まれ変わりました。</p>	

テーマ	歴史的なまちなみに配慮した電線類の地中化、修景事業
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 本町線</p> <p>所在地 滋賀県彦根市</p> <p>事業名 シンボルロード整備事業、街並み・まちづくり総合支援事業、まちなみ再生事業</p> <p>事業主体 彦根市</p> <p>事業期間 昭和60年 ~ 平成10年</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>街路整備の効果</p> <p>本町地区を南北に縦断する主要道路は、築城時の6m(3間幅)の幅員のままで、今日の交通事情に対応することができず、昭和60年度より都市計画道路本町線の街路整備を実施しました。本町線の完成により、スムーズな交通が確保できました。</p> <p>まちづくり整備の効果</p> <p>街路整備に併せ沿道の住民により「本町まちなみ委員会」が設置され、彦根城下町の基点にふさわしいまちなみ景観を再生するため地区計画決定および建築条例を制定いたしました。これにより道路とまちなみと彦根城が一体となった高質空間が形成され、沿道には店舗が軒を並べ、観光客等が足を運ぶ県内でも有数の観光名所となりました。</p>	
【位置図】	
【関連ホームページ】	